

keyword's
column

社会的不利地域

【Socially Disadvantaged Area】

近年貧困の所在が都市へと移り、「貧困の都市化」と認識されるプロセスが注目を集めている。その中でも特定の地域への「社会的不利」の集中に焦点が当てられ、そのメカニズムによりもたらされる、社会的排除に対する地域のダイナミックな役割・効果に最も関心が集まっている。

特定の地域がもたらす、あるいは地域を通じて生じる様々な不利への対応は、排除に抗するために欠かすことのできない課題である。欧米では、地域が貧困や社会的排除に結び付く問題を同定するための指標の開発や、特定地域にフォーカスを当てた地域再生プログラムが実施されている。日本も昨今の経済不況の下、特定地域に集中して雇用・健康・教育等へのアクセシビリティが損なわれつつあることが報告されており、地元コミュニティを巻き込んだ、より包括的な地域再生プログラムの模索が喫緊の課題である。

都市研究プラザは、高齢化や人口減少、地域経済基盤の衰退等に苦しむ被差別部落やエスニックコミュニティ、そして簡宿密集地域（寄せ場）等を中心に、行政や支援団体、当事者組織とのパートナーシップの下、地域再生に向けた新たな実験に乗り出している。来年は東アジア都市の社会的不利地域の地域再生に向けたネットワーク構築にも帆を上げる予定である。

全 泓奎（都市研究プラザ准教授）

In recent years poverty has shifted its location to the cities and this process, which has been recognized as the 'urbanization of poverty,' is attracting attention. Within that topic, focus is being put on the concentration of the 'socially disadvantaged' in particular localities, and concern is centered most around the dynamic role and effect of the locality towards the social exclusion that is brought about through that mechanism.

In fighting against exclusion, the response to the various disadvantages that are caused by or come about through particular localities is an issue that cannot be overlooked. In Europe and America, indicators are being developed that can identify the problems where localities are connected with poverty and social exclusion, and area regeneration projects are being carried out that are focused on particular localities. In Japan as well, under the economic recession of recent years, it has been reported that the ongoing deterioration in accessibility to employment, health, education, etc. has been concentrated in particular localities, and trying to come up with more comprehensive area regeneration programs that involve the local community is a matter of urgency. In partnership with government, aid groups, and organizations of the people concerned, the Urban Research Plaza has embarked on new experiments leading to area regeneration, mainly centering on discriminated-against *buraku* and ethnic minority communities that are suffering from ageing and dwindling populations and the erosion of the local economic base, and neighborhoods where day-laborers' lodging houses are concentrated (*yoseba*). Next year we are planning to kick off the construction a network aimed at area regeneration for the socially disadvantaged areas of East Asian cities.

JEON, Hong Gyu (URP Associate Professor)

URP GCOE DOCUMENTのご案内

都市研究プラザは、2006年4月に誕生以降、世界的な都市研究者や政策家を招いた国際シンポジウムやワークショップを開催し、国際的な都市研究と都市政策のネットワークを構築、新しい都市研究の姿を模索してきました。

2007年6月にグローバルCOE拠点に採択されて以降、そのプログラムのテーマである「文化創造と社会包摂に向けた都市の再構築」に関わる様々な国際的な研究活動や交流を広げてきています。

そうした研究成果や活動記録は、グローバルCOEの成果として、ドキュメントやワーキングペーパー、レポートそしてこのニューズレター等にまとめられ、一部は都市研究プラザのウェブサイトから閲覧することができます。

このうち、公式の刊行物となっているドキュメントについて、このたび、URP GCOE DOCUMENTとして、第1号から第7号まで、水曜社から出版され、2009年8月に出版された「創造都市と社会包摂」とともに、全国の書店やインターネットサイト(amazon等)を通じて販売されるようになりました。

なお、今後も研究活動の展開とともにURP GCOE DOCUMENTの続刊が予定されています。

詳しくは、以下をご覧ください。

<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/archives/documents.html>

URP GCOE DOCUMENT

1~7号まで発売中 ※以後続刊 A4判並製/定価各2,835円



第1号 創造都市のためのアートマネジメント
アジア・アートマネジメント会議 1

第2号 船場アートカフェ
2006年1月-2008年3月

第3号 世界創造都市フォーラム2007

第4号 都市再生と創造性

第5号 社会的接点としてのアートマネジメント
アジア・アートマネジメント会議 2

第6号 記憶と地域をつなぐアートプロジェクト
こころのたねとして 釜ヶ崎 2008

第7号 Managing Sustainability and Creativity
Urban Management in Europe and Japan

水曜社 東京都新宿区新宿1-14-12
URL: www.bookdom.net/suiyosha/
E-mail: sato@bookdom.net
Tel: 03-3351-8768

イベント・研究会の予定

各詳細は、都市研究プラザホームページをご覧ください。

11/1 ~5	まちのコモンズ2010 第5回船場建築祭 ...船場界限	第2ユニット
11/11 ~12	国際ワークショップ「Traceable Cities」 ...マンチェスター大学	第4ユニット
11/20 ~21	第2回日韓社会的企業セミナー ...大阪市立大学他	第3ユニット
12/1	第11回阿倍野Religion-Cafe ...阿倍野プラザ	第3ユニット
12/4	第271回人文地理学会例会 ...西成プラザ	第3ユニット
12/15 ~17	第1回国際ラウンドテーブル会議「都市の世紀を拓く」 国際シンポジウム「文化創造と社会包摂による都市の再興」 ...大阪国際交流センター	
12/15	セッション1 基調講演「文化創造と社会的包摂による都市の再興を語る」 シャロン・ズーキン(ニューヨーク市立大学教授) リリー・コン(シンガポール国立大学副学長) 町村敬志(一橋大学教授)	
	セッション2 招待講演「新国際ジャーナルによる大阪からの発信」	
12/16	セッション3 専門家会議「Rethinking Urban Creativity」	
	セッション4 専門家会議「Networking the Asian Urban Studies」	
12/17	セッション5 専門家会議「Presentations by URP Research Fellows」	
	セッション6 専門家会議「Perspectives of the AUC and its Prospects」	

■特別研究員(若手)公募

G-COE特別研究員(若手)募集(平成23年2月募集分) 2011年1月に公表を予定しています。

情報⇒ <http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/about/recruit.html>

■URP-Newsletter 次号発行予定は、2011年2月です。

URP

Osaka City University | Urban Research Plaza
大阪市立大学 | 都市研究プラザ

「都市研究プラザ」は、2006年4月に誕生しました。日本最大の公立大学として、これまでも都市の研究に注力し、実績をあげてきた大阪市立大学が、都市再生へのチャレンジとして立ち上げた全く新しいタイプの研究施設です。「プラザ」という名前が示すように、「都市」をテーマとする人々が出会い、集まる広場をめざしています。大阪や周辺都市、さらに海外の都市に小さいサテライト施設(現場プラザ、海外サブセンター)を設け、教員・院生スタッフが現場や海外に出て研究やまちづくり活動を行っています。また、「プラザ」は、世界第一線の都市研究者・政策家と国際的なネットワークをつくり、国際シンポジウムやワークショップを開催しています。2007-11年度グローバルCOE拠点に採択され、「文化創造と社会包摂に向けた都市の再構築」をテーマに多彩な研究プロジェクトを展開しています。

<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/>

558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 tel: 06-6605-2071
e-mail: office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

所長 佐々木雅幸 副所長 水内俊雄 岡野 浩 富田常雄
ユニット長 1U 佐々木雅幸 2U 嘉名光市 3U 水内俊雄 4U 岡野 浩
<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/staff/>

大阪市立大学 都市研究プラザ ニューズレター 第9号 2010年11月
編集委員会 佐藤由美、橋羽 愛
<http://www.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/staff/>